

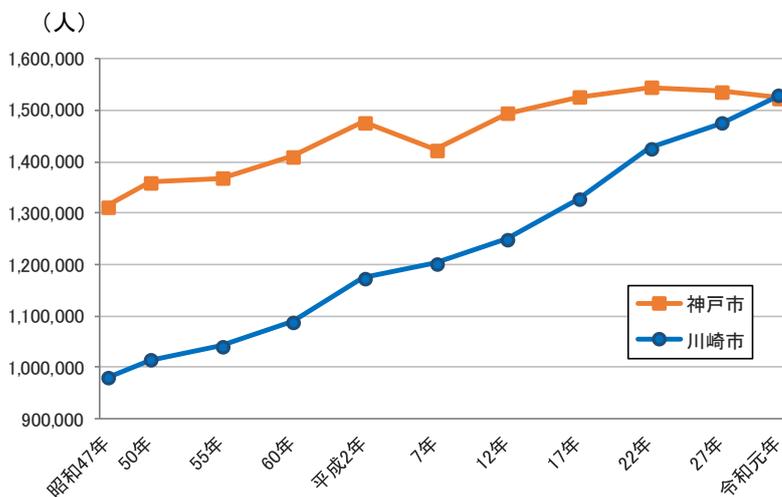
## 川崎市の人口が神戸市を上回り、政令市第6位に！

川崎市の人口（1,526,630人）が、神戸市の人口（1,524,749人）を1,881人上回りました（令和元年5月1日現在）

### ◆47年前の政令市移行時は本市が33万人下回る

本市が政令市になった昭和47年4月1日の本市人口は980,280人、神戸市人口は1,312,165人で約33万人の差がありました。その後、本市、神戸市ともに人口は増加傾向にありましたが、神戸市の人口増加率を本市が上回っていたことから、政令市へ移行してから47年が経過した令和元年5月1日に本市の人口は神戸市の人口を1,881人上回りました。

川崎市と神戸市の人口の推移



人口上位10政令市

(平成31年4月1日現在)

	政令市	人口
1	横浜市	3,741,317
2	大阪市	2,728,981
3	名古屋市	2,317,646
4	札幌市	1,965,161
5	福岡市	1,582,695
6	神戸市	1,522,635
7	川崎市	1,522,241
8	京都市	1,463,996
9	さいたま市	1,301,861
10	広島市	1,197,929

第6位に！

(令和元年5月1日現在)

6 **1,526,630**  
7 1,524,749

(注) 昭和47年は4月1日現在、令和元年は5月1日現在、その他は各年10月1日現在の人口

### ◆本市の人口のあゆみ

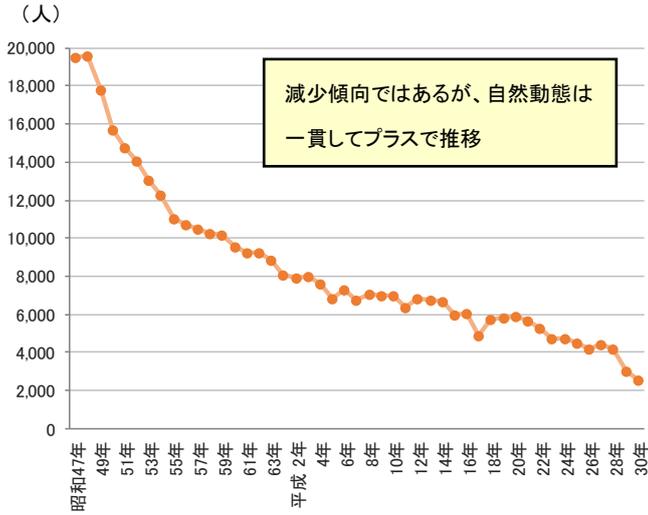
大正13年の市制移行時に約5万人であった本市の人口は、政令市移行後の昭和48年に100万人を超えました。首都圏に位置する立地優位性・交通利便性の高さなどから、平成元年前後のバブル景気時には年間15,000人以上の人口が増加しましたが、平成20年前後の武蔵小杉駅や新百合ヶ丘駅周辺の開発により人口が更に増加し、平成29年に150万都市となりました。

年・月	人口(人)	備考
大正13年	50,188	市制施行
昭和47年4月	980,280	政令指定都市移行
48年6月	1,002,097	100万人突破
57年7月	1,055,509	行政区再編
58年5月	1,064,957	人口が政令市で8位に
61年5月	1,101,815	110万人突破
平成5年6月	1,200,498	120万人突破
16年4月	1,300,069	130万人突破
21年4月	1,402,997	140万人突破
27年4月	1,466,444	人口が政令市で7位に
29年4月	1,500,052	150万人突破
令和元年5月	1,526,630	人口が政令市で6位に

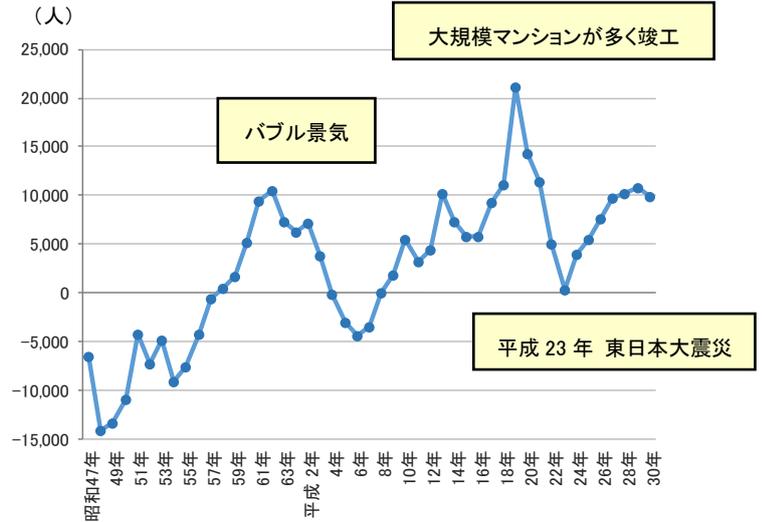
他の政令市と比較すると、昭和58年5月に北九州市の人口を上回り政令市第8位となって以降、京都市（平成27年4月）、そして神戸市（令和元年5月）をそれぞれ上回り、第6位の都市となりました。

## 人口動態の推移（昭和47年以降）

### 自然動態



### 社会動態

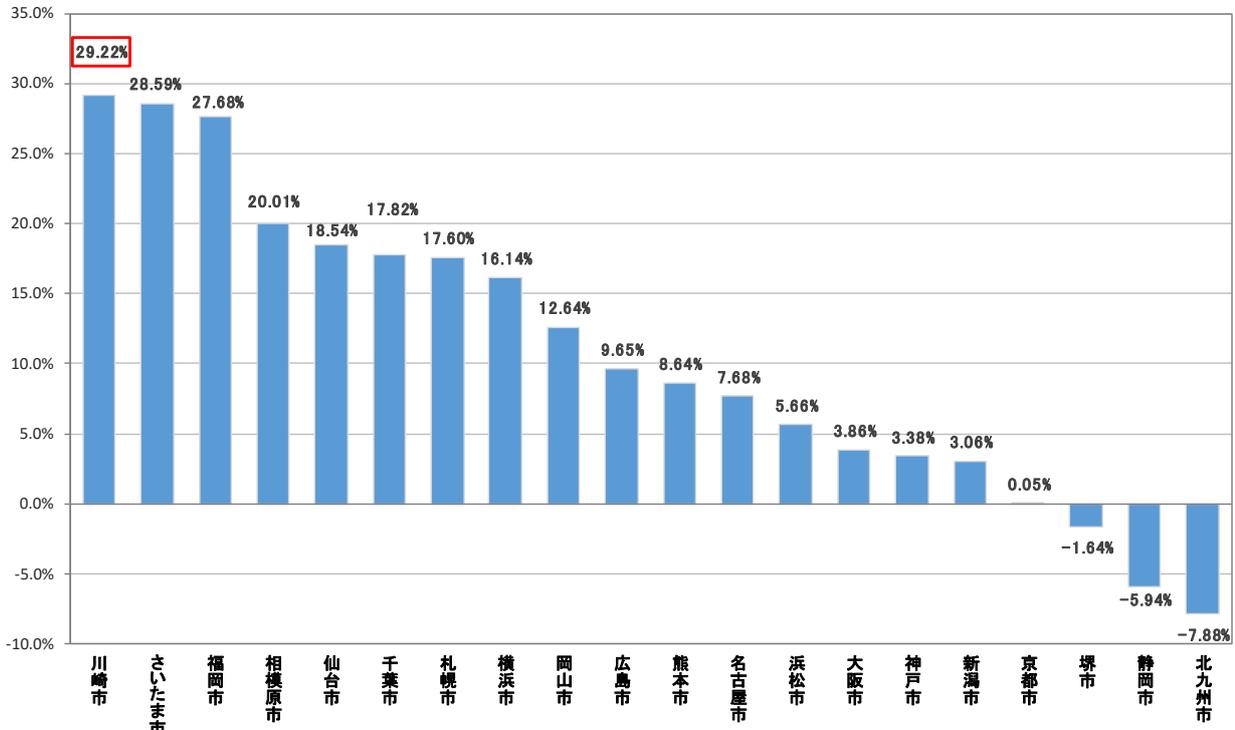


- (注1) 各年1月1日～12月31日までの人口の増減
- (注2) 自然動態は出生数から死亡数を差し引いた数値
- (注3) 社会動態は転入数から転出数を差し引いた数値

## ◆平成の人口増加率は政令市で第1位

平成になって初めて実施された平成2年国勢調査結果と平成30年の10月1日現在の推計人口を政令市で比較すると、川崎市の人口増加率は29.22%で20政令市中最も高い増加率となっています。

### 20政令市の人口増加率（平成2年～平成30年）



- (注1) 合併・編入の影響を除くため現在の市域における人口で算出
- (注2) 平成2年10月1日現在及び平成30年10月1日現在推計人口から算出